

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンサポート さらだ		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さらだ工房と称して「働く」「報酬を得る」などの体験が出来る。	就労体験(疑似仕事、疑似通貨の獲得)や同施設内の仕事も体験できるなどの取り組みをしている。	お出かけ時に公共交通機関の利用やお金の支払いを一緒に行なう事や色々なものに興味を持てるように支援する
2	多機能型施設と併設している事と様々な専門職の配置している事で、より1人1人の個性や特性に合わせた支援を取り入れている。	自分で考えて主体的に行動できるように本人の気持ちを確認し自分で決定できるような関りを心がけている。 クッキングやレクリエーションに児童の興味や関心があることや能力に応じて参加できる活動を取り入れている。	児童の好きなもの、興味や関心の持てる活動を取り入れ、出来る事を伸ばしていく。
3	中高生に特化していることで、社会性を身につける上での共通の課題を持つ児童が多く、下級生が上級生の姿を間近で見ることが出来て、将来のイメージがしやすい。	児童の情報共有は職員間で頻繁に行なっており、思春期特有の課題や必要な支援を日々の活動に取り入れている。	より、職員間での振り返りの時間を持つことで、スピード感をもって児童の状況を把握し、その対応について考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の運動の機会が少ない	スペースの確保が難しい。外部施設に気軽に連れていけるような体制が整っていない。	スペースを使わなくても出来る遊具を準備する。
2	特に性教育に関する知識が不足している	児童の個性や特性により、様々な思春期の悩みや課題があり、実態の把握に時間を要する。	専門書などを用いた活動内容と職員数を把握したうえで環境を設定していく。
3			